

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B2)

(11) 特許番号
特許第4073019号
(P4073019)

(45) 発行日 平成20年4月9日(2008.4.9)

(24) 登録日 平成20年2月1日(2008.2.1)

(51) Int.Cl.

F I

G O 6 Q 50/00 (2006.01)

G O 6 F 17/60 1 2 4

G O 6 Q 30/00 (2006.01)

G O 6 F 17/60 3 1 8 G

G O 6 F 17/30 (2006.01)

G O 6 F 17/30 1 7 0 A

請求項の数 1 (全 26 頁)

(21) 出願番号	特願2003-161943 (P2003-161943)	(73) 特許権者	502417508
(22) 出願日	平成15年6月6日(2003.6.6)		株式会社伸樹社
(65) 公開番号	特開2004-362396 (P2004-362396A)		東京都千代田区神田神保町3丁目2番2号 神保町錦明ビル3階
(43) 公開日	平成16年12月24日(2004.12.24)	(74) 代理人	100098729
審査請求日	平成17年1月21日(2005.1.21)		弁理士 重信 和男
		(74) 代理人	100116757
			弁理士 清水 英雄
		(74) 代理人	100123216
			弁理士 高木 祐一
		(72) 発明者	吉田 栄勝
			東京都千代田区三崎町3-6-12 MMKビル 株式会社伸樹社内
		審査官	篠原 功一
			最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 文献受注複写システム

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

データ通信可能に接続された複数のコンピュータ端末から成るコンピュータネットワークに接続され、当該コンピュータネットワークに接続されたアクセス利用者の利用者端末から文献の複写注文を受付けるためのサーバコンピュータと、
文献を所蔵する各図書館に設置され、前記サーバコンピュータとデータ通信可能に接続された図書館端末と、
から成る受注文献複写システムであって、
前記サーバコンピュータは、
各文献誌名の巻、年、号と、該各文献誌名の巻、年、号を所蔵する図書館を特定可能な図書館識別情報とが対応付けて登録されるとともに、各図書館識別情報と当該図書館に所蔵されている文献の複写物が注文者に届くまでの手配期間情報とが対応付けて記憶された所蔵図書館データベースと、
前記利用者端末から複写を希望する文献の誌名、複写頁並びに部数に関する複写文献情報と、複写文献の送付先を特定可能な送付先情報とを含む注文情報を受付ける注文受け手段と、
該注文受け手段にて受付けた注文情報を、当該注文を特定可能な受注識別情報に対応付けて記憶する受注内容記憶手段と、
前記注文受け手段にて受注した複写頁を所蔵する図書館の図書館識別情報を前記所蔵図書館データベースから全て抽出する図書館抽出手段と、

該図書館抽出手段にて抽出した図書館識別情報が複数存在する場合において、該抽出した各図書館識別情報に対応して前記所蔵図書館データベースに記憶されている手配期間情報を読み出して比較し、最も手配期間の短い図書館識別情報を特定する最短手配期間図書館特定手段と、

該最短手配期間図書館特定手段にて特定された最も手配期間の短い図書館識別情報の図書館に設置されている前記図書館端末に対し、前記注文受付け手段にて受注した文献の誌名、複写頁並びに受注識別情報を含む文献複写指示情報を送信する文献複写指示情報送信手段と、
を備え、

前記図書館端末は、

前記サーバコンピュータから送信されてきた文献複写指示情報を出力する出力手段と、
該出力ステップにて出力された文献複写指示情報に含まれる文献の複写データを入力する入力手段と、

該入力手段にて入力された複写データと当該文献の受注識別情報とを含む複写データ情報、若しくは、複写データに代えて該受注識別情報の文献が複写不能であることを示す複写不能情報を含む複写データ情報を前記サーバコンピュータに返信する複写データ情報送信手段と、

を備え、

さらに前記サーバコンピュータは、

前記図書館端末から送信されてきた前記複写データ情報に含まれる文献の複写データを、
当該複写データ情報に含まれる受注識別情報に対応付けて前記受注内容記憶手段に記憶されている部数にて印刷出力する複写出力手段と、

該複写出力手段にて出力された複写文献の送付先を、前記複写データ情報に含まれる受注識別情報に対応付けて前記受注内容記憶手段に記憶されている送付先情報から特定し、該複写文献と組み合わせて印刷出力する送付先出力手段と、

前記図書館端末から送信されてきた前記複写データ情報に、前記複写不能情報が含まれているか否かを判定する判定手段と、

該判定手段にて複写不能情報が含まれていると判定されたときに、当該複写データ情報に含まれる受注識別情報に対応して前記受注内容記憶手段に記憶されている注文情報から文献の誌名、複写頁を特定し、該誌名文献の複写頁を所蔵する他の図書館の図書館識別情報を前記所蔵図書館データベースから全て抽出する再抽出手段と、

該再抽出手段において再抽出した図書館識別情報が複数存在する場合において、当該抽出した各図書館識別情報に対応して前記所蔵図書館データベースに記憶されている手配期間情報を読み出して比較し、最も手配期間の短い図書館識別情報を特定する次点手配期間図書館特定手段と、

を備え、

前記文献複写指示情報送信手段は、前記次点手配期間図書館特定手段にて特定した図書館識別情報から特定される図書館に設置されている前記図書館端末に対し、前記文献複写指示情報を送信することを特徴とする文献受注複写システム。

【発明の詳細な説明】

【０００１】

【発明の属する技術分野】

本発明は、データ通信可能に接続された複数のコンピュータ端末から成るコンピュータネットワークに接続されたサーバコンピュータと、文献を所蔵する各図書館に設置された図書館端末とを用いて、前記コンピュータネットワークに接続されたアクセス利用者の利用者端末から文献、特には医療分野等の専門分野における文献の複写注文を受付け、該受注した文献の複写物を作成するための文献受注複写システムに関する。

【０００２】

【従来の技術】

従来、医療分野等の専門分野における文献を複写するシステムとしては、電話やファック

10

20

30

40

50

ス等により複写物の注文を受付け、該受付けた文献を所蔵している図書館を、所蔵データベースが記憶されているコンピュータを使用して特定し、該図書館別に複写指示を作成して図書館に設置されているファックス等に送信し、その複写指示された文献のコピーと複写指示とが図書館からファックスされてくることで、複写物を作成し、該複写物を注文時に指定された送付先に発送することが実施されている。

【0003】

これら従来のシステムにおいては、複写物の注文を行い難い（時間的な制約がある）とともに、注文に際して電話対応やファックスによる注文内容の管理のための入力等に多くの労力が必要であるばかりか、受注における文献間違い等による不都合が生じる場合もあり、これらの不都合を解消するために、近年のインターネット普及に伴ない、コンピュータネットワークであるインターネットを介して文献複写の受注を行うシステムが提案されてきている。

10

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

これらインターネットを介して文献複写の受注を行うシステムでは、24時間、時間的な制約なしに受注を行うことができるばかりか、受注に伴う労力や間違い等を大幅に低減できるため、より多くの受注を行うことが可能となるが、これら受注した多くの文献複写の注文を処理するためには、文献を複写するために、該文献がどの図書館に所蔵されているのかを特定したり、複写指示を作成したり、該作成した複写指示を特定した図書館にファックス送信したり、図書館より受信したファックスを受注別に仕分けたりする必要がある、受注が増大するのに伴ってこれらの処理に膨大な労力が必要となってしまう、前記受注の効率化による受注の増大の効果を最大限に生かすことができないという問題があり、これら受注処理と複写処理とを統合したシステムが切望されていた。

20

【0005】

よって、本発明は上記した問題点に着目してなされたもので、受注処理と複写処理とを統合することで、受注の効率化による受注の増大の効果を最大限に生かすことのできる文献受注複写システムを提供することを目的としている。

【0006】

【課題を解決するための手段】

前記した問題を解決するために、本発明の文献受注複写システムは、データ通信可能に接続された複数のコンピュータ端末から成るコンピュータネットワークに接続され、当該コンピュータネットワークに接続されたアクセス利用者の利用者端末から文献の複写注文を受付けるためのサーバコンピュータと、

30

文献を所蔵する各図書館に設置され、前記サーバコンピュータとデータ通信可能に接続された図書館端末と、

から成る受注文献複写システムであって、

前記サーバコンピュータは、

各文献誌名の巻、年、号と、該各文献誌名の巻、年、号を所蔵する図書館を特定可能な図書館識別情報とが対応付けて登録されるときともに、各図書館識別情報と当該図書館に所蔵されている文献の複写物が注文者に届くまでの手配期間情報とが対応付けて記憶された所蔵図書館データベースと、

40

前記利用者端末から複写を希望する文献の誌名、複写頁並びに部数に関する複写文献情報と、複写文献の送付先を特定可能な送付先情報とを含む注文情報を受付ける注文受け手段と、

該注文受け手段にて受付けた注文情報を、当該注文を特定可能な受注識別情報に対応付けて記憶する受注内容記憶手段と、

前記注文受け手段にて受注した複写頁を所蔵する図書館の図書館識別情報を前記所蔵図書館データベースから全て抽出する図書館抽出手段と、

該図書館抽出手段にて抽出した図書館識別情報が複数存在する場合において、該抽出した各図書館識別情報に対応して前記所蔵図書館データベースに記憶されている手配期間情報

50

を読み出して比較し、最も手配期間の短い図書館識別情報を特定する最短手配期間図書館特定手段と、

該最短手配期間図書館特定手段にて特定された最も手配期間の短い図書館識別情報の図書館に設置されている前記図書館端末に対し、前記注文受付け手段にて受注した文献の誌名、複写頁並びに受注識別情報を含む文献複写指示情報を送信する文献複写指示情報送信手段と、

を備え、

前記図書館端末は、

前記サーバコンピュータから送信されてきた文献複写指示情報を出力する出力手段と、該出力ステップにて出力された文献複写指示情報に含まれる文献の複写データを入力する入力手段と、

該入力手段にて入力された複写データと当該文献の受注識別情報とを含む複写データ情報、若しくは、複写データに代えて該受注識別情報の文献が複写不能であることを示す複写不能情報を含む複写データ情報を前記サーバコンピュータに返信する複写データ情報送信手段と、

を備え、

さらに前記サーバコンピュータは、

前記図書館端末から送信されてきた前記複写データ情報に含まれる文献の複写データを、当該複写データ情報に含まれる受注識別情報に対応付けて前記受注内容記憶手段に記憶されている部数にて印刷出力する複写出力手段と、

該複写出力手段にて出力された複写文献の送付先を、前記複写データ情報に含まれる受注識別情報に対応付けて前記受注内容記憶手段に記憶されている送付先情報から特定し、該複写文献と組み合わせる印刷出力する送付先出力手段と、

前記図書館端末から送信されてきた前記複写データ情報に、前記複写不能情報が含まれているか否かを判定する判定手段と、

該判定手段にて複写不能情報が含まれていると判定されたときに、当該複写データ情報に含まれる受注識別情報に対応して前記受注内容記憶手段に記憶されている注文情報から文献の誌名、複写頁を特定し、該誌名文献の複写頁を所蔵する他の図書館の図書館識別情報を前記所蔵図書館データベースから全て抽出する再抽出手段と、

該再抽出手段において再抽出した図書館識別情報が複数存在する場合において、当該抽出した各図書館識別情報に対応して前記所蔵図書館データベースに記憶されている手配期間情報を読み出して比較し、最も手配期間の短い図書館識別情報を特定する次点手配期間図書館特定手段と、

を備え、

前記文献複写指示情報送信手段は、前記次点手配期間図書館特定手段にて特定した図書館識別情報から特定される図書館に設置されている前記図書館端末に対し、前記文献複写指示情報を送信することを特徴としている。

この特徴によれば、サーバコンピュータによりアクセス利用者から受付けた文献の複写注文に基づいて、当該文献が所蔵されている図書館が特定されて、該特定された図書館に設置されている図書館端末に対して、文献複写指示情報が自動的に送信されるとともに、該送信された文献複写指示情報に基づいて図書館端末から文献複写指示情報に含まれる文献の複写データを含む複写データ情報が送信されてくることで、該複写データ情報に含まれる複写データが印刷出力されるとともに当該複写文献の送付先が出力されて、これら印刷出力された複写文献を送付先に容易に発送できるようになるため、サーバコンピュータにおける受注処理と受注した文献の複写処理とが自動的に実施されるように統合されるようになり、よって、受注の効率化による受注の増大の効果を最大限に生かすことができる。また、最も手配期間の短い図書館に対して前記文献複写指示情報が送信されるようになるため、注文者は最短期間にて複写文献を入手できるとともに、何らかの原因、例えば文献の複写頁が貸し出されていたり、製本に供されていて複写不能である場合であっても、当該文献の複写頁

10

20

30

40

50

を所蔵している最も手配期間の短い他の図書館が自動的に抽出されて文献複写指示情報が送信されるようになるため、これら文献が複写不能である場合にも自動的に対処することができる。

【0014】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施例を図面に基づいて説明する。

(実施例)

まず図1は、本実施例の文献受注システムの構成を示すシステム図であり、図2は、本実施例の文献受注システムに用いたサーバコンピュータの構成を示すブロック図である。

【0015】

まず、本実施例の文献受注システムは、図1に示すように、コンピュータネットワークであるインターネット網3に接続されたアクセス利用者である文献注文者a、b…のコンピュータ端末であるノートパソコン4a、4b…等や、注文される各文献を所蔵している図書館A、B…の各々に設けられ、各図書館A、B…に常駐している図書館担当者に対する文献の複写指示の出力や、該指示された複写文献の複写データ等が入力されるコンピュータ端末6と、受注センターに設置され、前記インターネット網3に通信装置2を介して接続されたサイトサーバ1とともに、前記インターネット網3とVPN通信装置5、7を介して仮想のローカルエリアネットワーク(LAN)にて接続され、前記サイトサーバ1により構成される受注サイトにて使用される各種データベースや、受注内容、並びに受注した文献の手配処理(複写処理)や、各処理状況を管理するとともに、各コンピュータ端末6に対し、各図書館への複写指示等を送信する文献複写指示情報送信処理等を行う管理サーバ9とから主に構成されており、利用者a、b…のアクセス利用者端末であるノートパソコン4a、4b…等と前記サイトサーバ1とは、インターネット網3を介して双方にデータ送受可能に構成されているとともに、各図書館に設置されたコンピュータ端末6と管理サーバ9とは、前記仮想のローカルエリアネットワーク(LAN)を介して双方にデータ送受可能に構成されている。

【0016】

また、管理サーバ9には、各図書館A、B…の各々に設置されている図書館端末であるコンピュータ端末6から送信されてきた複写データ情報に含まれる複写データを印刷出力するための印刷機100が接続されている。

【0017】

また、各図書館A、B…の各々に設置されているコンピュータ端末6には、管理サーバ9から送信されてくる文献複写指示情報(指示書)を印刷出力するとともに、複写指示された文献の画像を複写データであるスキャンデータとして読み取るための、スキャナプリンタ8が接続されており、図書館担当者はスキャナプリンタ8から印刷出力された受注IDがバーコード化されて印刷される文献複写指示書に基づいて、当該複写指示された文献を探し出し、該文献(製本されていない場合)自体或いは該文献の複写(製本されている場合等)を文献複写指示書とともにスキャナプリンタ8に投入しスキャンデータとして読み取り、該読み取った複写データを文献複写指示書に印刷されているバーコード化された受注IDをバーコードリーダ(図示略)にて読み取って、送信情報である複写データ情報のヘッダとして付加して管理サーバ9に送信するようになっている。

【0018】

また受注センターに設置されたサイトサーバ1と管理サーバ9とは、LANケーブルにより接続され双方に高速のデータ送受信を可能に接続されており、これらサイトサーバ1と管理サーバ9とが一体として文献の注文の受付、該受注文献の複写処理、並びに受注文献の管理を実施するようになっている。

【0019】

尚、本実施例では、受注センターに、セキュリティ対策や処理負荷の分散のためにサイトサーバ1と管理サーバ9とを個別に設けているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらサイトサーバ1と管理サーバ9とを1つのサーバコンピュータにて構成しても

10

20

30

40

50

良い。

【0020】

また、本実施例では、アクセス利用者端末としてノートパソコン4 a、4 b…を使用した例を示すが、本発明はこれに限定されるものではなく、これらアクセス利用者端末としては、インターネット接続機能を有する携帯電話端末等を用いても良く、インターネット網を通じて前記サイトサーバ1にアクセス可能なものであれば、任意なものをアクセス利用者端末として使用できる。

【0021】

この本実施例において使用した管理サーバ9とサイトサーバ1の構成を図2を用いて説明すると、サイトサーバ1はコンピュータ内部にてデータの送受を行うデータバス20に、該サイトサーバ1が実施する各種処理等を実施する中央演算処理装置(CPU)21や、該CPU21が行う処理に使用されるワークメモリ等として使用されるRAM22や、時刻情報や任意の年月日、曜日等のカレンダー情報を出力可能なリアルタイムクロック(RTC)27と、前記通信装置2に接続されてインターネット網3に接続されたアクセス利用者端末であるノートパソコン4 a、4 b…とのデータの送受信を行う第1の通信インターフェイス23と、LANケーブルを通じて管理サーバ9とのデータの送受信を行う第2の通信インターフェイス18と、磁気ディスクや光磁気ディスクから成り、前記CPU21が実施する各種処理を実施するための処理プログラムや、サイトを構築・運営するための各種データが記憶された記憶装置15と、が接続された比較的高速の演算処理が可能な通常のサーバコンピュータとされている。

【0022】

この本実施例に用いたサイトサーバ1の記憶装置15には、利用者が使用する各コンピュータ端末のプラットフォーム(オペレーションシステム)等に依存せずに、どのプラットフォームにおいても相互に使用可能なHTML(ハイパーテキストマークアップラングエッジ)言語にて記述され、各プラットフォームにおいて動作するブラウザソフトを用いて情報の閲覧、入力ができるホームページ形式のWWW(ワールドワイドウェブ)データが記憶されており、これらWWW(ワールドワイドウェブ)データと前記各種処理プログラムとが協調して文献の受注処理や所持状況の問い合わせ処理等を実施するようになっている。

【0023】

また管理サーバ9はコンピュータ内部にてデータの送受を行うデータバス10に、モニタ等の表示装置14や、キーボードやマウス等の入力装置16や、該管理サーバ9が実施するデータベースの検索処理や更新処理、並びに複写指示の送信処理等の各種処理等を実施する中央演算処理装置(CPU)11や、該CPU11が行う処理に使用されるワークメモリ等として使用されるRAM12や、時刻情報や任意の年月日、曜日等のカレンダー情報を出力可能なリアルタイムクロック(RTC)17と、前記サイトサーバ1の第2の通信インターフェイス28に前記LANケーブルにて接続されてサイトサーバ1とのデータの送受信を行う第1の通信インターフェイス13と、前記VPN通信装置5、7並びにインターネット網3を通じて各図書館A、B…に設置されたコンピュータ端末6とのデータの送受信を行う第2の通信インターフェイス18と、磁気ディスクや光磁気ディスクから成り、前記CPU11が実施する各種処理を実施するための処理プログラムや、後述する誌名テーブルや、所蔵先テーブル、並びに所蔵テーブル等の各種テーブルと、受注識別情報である受注IDに対応付けて発注者の情報や受注文献や複写部数に関する情報並びに該受注文献の処理状況や送付先の情報が登録された受注データベースとが記憶された記憶装置15と、印刷機100を接続するための接続インターフェイス19が接続された比較的高速の演算処理が可能な通常のコンピュータとされている。

【0024】

また前記記憶装置15には、図7に示すように、各文献が内在されている学術誌の正式誌名と、各学術誌に固有に付与された識別情報である誌名IDとが対応付けて登録されるとともに、各学術誌の仮称誌名としての誌名読み名や、非情報価値省略名、誌名頭文字

10

20

30

40

50

名、誌名省略名の4つが、登録されていて、文献の注文時において、入力された文字列が前記4つの仮称誌名のいずれかに一致（先頭一致または部分一致）した場合には、該学術誌の正式誌名が候補学術誌として抽出されて表示されるようになっている。

【0025】

これら仮称誌名の1つとして本実施例では、学術誌が日本語表記のものである場合には、その正式誌名の読みローマ字列を正式誌名の誌名読み名として使用しているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら正式誌名の誌名読みとしては、正式誌名の読み仮名を用いるようにしても良い。

【0026】

また、本実施例では仮称誌名の1つとして、学術誌が英語表記のものである場合には、正式誌名から非情報価値用語である「of」等の接続詞や、「the」、「a」、「an」等の冠詞を除いた非情報価値省略名を用いているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら非情報価値用語を前記接続詞のみ、或いは冠詞のみとしても良い。

【0027】

尚、本実施例では、前記誌名読み名と非情報価値省略名とを個別に登録しているが、これらが日本語表記のもの或いは英語表記のものに限定されることから、誌名テーブルの構成を簡素化するために、共通の項目に双方のいずれかを登録するようにしても良い。

【0028】

また、本実施例では仮称誌名の1つとして、正式誌名を構成する各単語の先頭文字の集合文字列、具体的には、図7の「American Journal of Cardiology」の場合では、正式誌名を、非情報価値用語を除く各単語である「American」、「Journal」、「Cardiology」に単語分けし、該単語の先頭文字である「A」、「J」、「C」の集合語である「AJC」が誌名頭文字名として登録されている。

【0029】

尚、学術誌が日本語表記のものである場合には、これら誌名頭文字名には、前記正式誌名の読みローマ字列を用いた誌名頭文字名を使用している。

【0030】

また、本実施例では仮称誌名の1つとして、学術誌が日本語表記のものである場合には、正式誌名を構成する各熟語文節の先頭語の集合語、具体的には、図7の「関東整形外科災害外科学会誌」の場合には、該正式誌名を各熟語文節である「関東」、「整形外科」、「災害外科」、「学会誌」、に分割し、該熟語の先頭文字の集合体である「関整災」に「学会誌」を示す「誌」を付加した「関整災誌」を、誌名省略名として登録している。

【0031】

尚、本実施例では、学術誌が英語表記のものである場合に、これら誌名省略名には、誌名推定に重要と思われる単語の省略型文字列を、前記誌名頭文字名の該当する単語部分に挿入したものを使用している。

【0032】

これら図7に示す誌名テーブルに登録された正式誌名は、後述する文献受付に際して入力される文字列が、その一部分に一致した場合において候補文献として抽出され、その他の仮称名称においては、後述する文献受付に際して入力される文字列が、登録されている仮称名称と前方一致している場合において候補文献として抽出される。

【0033】

また、本実施例に用いた前記所蔵先テーブルには、図8に示すように、所蔵先である各図書館に固有に付与された所蔵先ID、並びに分館ID、所蔵先名とに対応付けて、各所蔵先に所蔵された文献を複写して注文者に届けるまでの必要日数が対応付けて登録されており、文献の受注に際して、その文献の所蔵先の特定に基づき、その必要日数が該所蔵先テーブルにて特定されて注文時に表示されるようになっている。

【0034】

また、本実施例に用いた前記所蔵テーブルには、図9に示すように、各所蔵先図書館のIDである所蔵先IDと分館IDに対応付けて、該所蔵先に所蔵されている学術文献の誌名

10

20

30

40

50

I Dと所蔵巻、号、年、等の情報、並びに所蔵情報を識別可能とするための所蔵I Dが登録されており、文献の受注に際して、特定された正式誌名、巻、年、号を所蔵する所蔵先I Dと分館I Dとを、該所蔵テーブルから特定できるようになっている。

【0035】

また、本実施例に用いた受注データベースは、図10に示すような構成とされ、受注時に各受注に対して個別に付与することで各受注を識別可能とされた受注識別情報である受注I Dに対応付けて、顧客I D（顧客登録されている顧客の場合）や顧客の氏名（顧客登録されていない顧客の場合）が登録される注文者の項目と、注文者に顧客I Dが登録されている場合には、同一顧客の注文を個別に識別するための枝番の項目と、注文された文献の誌名や巻、号、ページ等の注文文献に関する情報が登録される文献誌名の項目と、複写する部数が登録される部数の項目と、受注した日付が登録される受注日の項目と、受注した文献の処理状況と入手予定期間等の情報が登録される処理状況の項目と、当該複写した文献の送付先に関する情報が登録される送付先の項目とが設けられており、この受注データベースには所定期間である過去3ヶ月の受注履歴が登録されるようになっており、該登録されている内容に基づいて、受注I Dや顧客I Dにより、受注I Dに対応する注文や顧客I Dに対応する注文者の注文の内容や処理状況や送付先等を特定できるようになっている。

10

【0036】

以下、本実施例のサイトサーバ1の処理状況を図3に基づいて説明すると、まず、サイトサーバ1は、利用者によりノートパソコン4a、4b…を介してアクセスされるとともに、ノートパソコン4a、4b…に図11に示すメニューページを送信する（S1）。この最初に表示されるメニューページ（図11参照）において、アクセス利用者が、文献の複写を注文したい場合には、「文献複写サービス」の表示を選択入力することで、該選択入力により「受注開始」としてS2にて判定されてS3以下の処理が実施され、アクセス利用者が、既に注文した文献の処理状況を確認したい場合には、メニューページの左側位置に表示されている「問い合わせWEB」の表示を選択入力することで、S26において「問い合わせ有り」と判定されて、S27以下の処理（問い合わせ処理）が実施される。

20

【0037】

前記メニューページにおいてアクセス利用者により「文献複写サービス」が選択入力されると、サイトサーバ1は、図12に示す「顧客情報入力ページ」をノートパソコン4a、4b…に送信する（S3）。該「顧客情報入力ページ」（図12）では、「文献複写サービス」の利用を所望する利用者に対して、顧客情報（本実施例では、利用者の会社名、事業所名、所属、氏名、電子メールアドレス、住所、電話番号、FAX番号）の入力を促すとともに、或いは顧客情報の入力が終了した旨を受付ける「お客様情報の登録」の入力を促す。

30

【0038】

尚、本実施例では、受付ける顧客情報を、利用者の会社名、事業所名、所属、氏名、電子メールアドレス、住所、電話番号、FAX番号としているが、項目を減らしても良く、また、例えば、受注確認通知の送付方法をFAXにするか否か、或いは、複写文献の配送方法をFAXにするか否かなど、文献複写サービスに関係する利用者の嗜好情報を入力できるように顧客情報入力ページの入力項目を増やしても良い。

40

【0039】

「顧客情報入力ページ」（図12）において「お客様情報の登録」が選択入力されると、サイトサーバ1は、顧客情報（本実施例では、利用者の会社名、事業所名、所属、氏名、電子メールアドレス、住所、電話番号、FAX番号）が入力されたか否かを判定し（S4）、入力されていれば図13及び図16に示す「文献情報入力ページ」をノートパソコン4a、4b…に送信する（S5）。「文献情報入力ページ」（図13、図16）では、所望する文献が内在されている学術誌の名称を特定する誌名と、特定された誌名をもつ学術誌の中で所望する文献が内在されている1冊を特定する発行年数、巻数、号数を示す年、巻、号と、特定された1冊において所望する文献が内在されている範囲を特定する始点ペ

50

ージ数、終点ページ数と、所望の文献の著者名、所望の文献の題目、からなる文献情報の入力を促すとともに、或いは、学術誌の正式な名前（以下、正式誌名と称す）を推察できると思われる仮称誌名に基づく正式誌名の特定処理を実施する「誌名検索」と、入力された文献情報の複写を発注する「申し込み」と、現在入力中の文献情報に加えて新たな文献情報を発注する「次の入力」と、を促す。

【0040】

「文献情報入力ページ」（図13、図16）において、「誌名検索」が選択入力された場合には（S6）、サイトサーバ1は、図14に示す「検索/結果ページ」をノートパソコン4a、4b…に送信する（S7）。「検索/結果ページ」（図14、図15）では、学術誌の正式名称を推察できると利用者が判断した仮称誌名の入力を受付ける誌名と、学術誌の発行年数、巻数、号数を示す年、巻、号と、からなる誌名検索情報の入力を促すとともに、或いは誌名検索情報の入力が終了した旨を受付ける「検索」の入力を促す。

10

【0041】

「検索/結果ページ」（図14、図15）において、「検索」が入力された場合には（S8）、利用者に入力された誌名検索情報と、管理サーバ9の記憶装置15に蓄積された誌名テーブル（図7）と、を照合し、「検索/結果ページ」（図14、図15）にて受付けた学術誌の正式名称を推察できると利用者が判断した仮称誌名を少なくとも含む正式誌名、すなわち正式誌名候補と、正式誌名に固有に付与された識別情報である誌名IDと、を抽出する後述の誌名候補抽出処理を行う（S13）。

20

【0042】

次いで、抽出した誌名IDと、管理サーバ9の記憶装置15に蓄積された所蔵テーブル（図9）と、管理サーバ9の記憶装置15に蓄積された所蔵先テーブル（図8）と、を照合し、誌名IDの所蔵先と、所蔵先に所蔵された文献を複写して注文者に届けるまでの必要日数を示す入手時期と、を特定する後述の入手時期特定処理を行うとともに（S10）、抽出した誌名IDの数、すなわち正式誌名候補の数が1であるか否かを判定する（S11）。正式誌名候補の数が1である場合には、図16に示すように、該正式誌名候補と、該正式誌名候補の所蔵先並びに入手時期と、が設定された「文献情報入力ページ」をノートパソコン4a、4b…に送信して、文献情報の入力を継続するよう利用者に促す（S5）。

。

【0043】

本実施例では、「文献情報入力ページ」（図16）において所蔵先並びに入手時期を設定する場合に、所蔵先が特定できないように所蔵先名称に所蔵先仮称（本実施例では、第1候補、第2候補、第3候補）を設定することが好ましい。このようにすれば、利用者に対して所蔵先名称を知らせずに複写文献の申し込みを受付けるため、利用者は所蔵先に対して複写文献の申し込みに関係する問い合わせを行うことがなく、利用者は受注センターのみに対して複写文献の申し込みに関係する問い合わせを行えばよく、利用者が複数の取引先相手と直接交渉する場合の操作上並びに手続き上の負担を軽減できる。また、受注センターのみが複写文献の申し込みに関係する問い合わせに応答する機能、すなわち文献複写サービスを備えればよく、システムの構成を簡素化できる。さらには、所蔵先にて文献複写サービスを備える必要がないため、文献複写サービスを備えない所蔵先が文献複写サービスに参加できるとともに、より多くの文献を利用者に提供することができるため、利用者に対する文献複写サービスの有用性を高めることができる。

30

40

【0044】

尚、本実施例では、「文献情報入力ページ」（図16）において所蔵先並びに入手時期を設定する場合に、所蔵先が特定できないように所蔵先名称に所蔵先仮称（本実施例では、第1候補、第2候補、第3候補）を設定する構成としているが、所蔵先名称を設定することにより、所蔵先を特定できるようにしてもよい。

【0045】

また、ステップ11において正式誌名候補の数が0か、或いは、1よりも多かった場合には、「検索/結果ページ」（図14、図15）をノートパソコン4a、4b…に送信し、

50

ステップ7（S7）に移行する。正式誌名候補の数が0であった場合には、ステップ10（S10）の入手時期特定処理において、いずれの入手時期も抽出されないため、図14に示すように正式誌名候補並びに入手時期を空白に設定した「検索/結果ページ」をノートパソコン4a、4b…に送信し、利用者に誌名検索を促す。また、正式誌名候補の数が1よりも多かった場合には、ステップ10において複数の入手時期が特定されるため、図15に示すように複数の正式誌名候補並びに入手時期を設定した「検索/結果ページ」をノートパソコン4a、4b…に送信し、検索する旨を受付ける「検索」と、正式誌名候補を1つに特定する旨を受付ける「選択」と、特定の正式誌名候補に関する詳細情報を表示する旨を受付ける「表示」と、いずれかの入力を利用者に促す。

【0046】

「検索/結果ページ」（図14、図15）において、利用者より正式誌名を検索する旨を示す「検索」の選択入力を受付けず（S8）、正式誌名候補を1つに特定する旨を示す「選択」の選択入力を受付けた場合には（S9）、特定した正式誌名候補と対応付けられた所属先と入手時期とを特定するとともに（S10）、正式誌名候補が特定されているため正式誌名候補の数が1つと判定され（S11）、図16に示すように、特定された正式誌名候補と、正式誌名候補の入手時期と、が設定された「文献情報入力ページ」をノートパソコン4a、4b…に送信しステップ5に移行する、すなわち、誌名以外の文献情報の入力を利用者より受付ける。

【0047】

このように、正式誌名を推察できると思われる仮称誌名を利用者に入力され「検索」を実施するとともに、該仮称誌名の文字列を少なくとも含む正式誌名候補を一覧表示し、一覧表示した正式誌名候補の内から1つを利用者に選択されるまで「検索/結果ページ」（図14、図15）を表示しつづけることにより、すなわち、利用者が所望する文献が内在された学術誌の正式誌名が利用者により特定されるまで「検索/結果ページ」（図14、図15）を表示しつづけることにより、利用者の正式誌名に関する記憶が不明瞭であるか、記憶に間違いがある場合にも、正式誌名の入力を確実に受付けることができる。

【0048】

また、「文献情報入力ページ」（図13、図16）をノートパソコン4a、4b…に送信したステップ5の状態、利用者より誌名の入力を受付けた場合には（S12）、後述する誌名候補抽出処理を実施し（S13）、正式誌名候補が利用者により1つに特定されるまで「検索/結果ページ」（図14、図15）をノートパソコン4a、4b…に送信しつづけることにより、正式誌名並びに入手時期を特定する（S7～S12、S14）。

【0049】

このようにすることで、利用者の誌名に関する記憶が明瞭であって、例えば完全な正式誌名のように正式誌名候補が1つに特定されるような誌名の入力を受付けた場合には、「検索/結果ページ」（図14、図15）をノートパソコン4a、4b…に送信して、誌名仮称の入力と、「検索」及び「選択」の選択入力と、を受付けることなく、正式誌名並びに入手時期を特定できる、すなわち、「検索/結果ページ」（図14、図15）をノートパソコン4a、4b…に送信することなく正式誌名並びに入手時期が設定された「文献情報入力ページ」（図13、図16）をノートパソコン4a、4b…に送信することができるため、サイトサーバ1のCPU21にて実施される制御を簡易化できるとともに、利用者より受付ける入力を簡便化できる。

【0050】

また、「文献情報入力ページ」（図13、図16）をノートパソコン4a、4b…に送信したステップ5の状態、利用者より「次の誌名」の選択入力を受付けた場合には（S14）、「文献情報入力ページ」（図13、図16）において、正式誌名並びに入手時期が設定されているか否かと、正式誌名並びに入手時期以外の文献情報における必須項目（本実施例では文献の発行年、巻数、号数、ページ数、著者名）が入力されているか否かを判定し（S15）、入力されていれば文献情報仮申込処理を実施する（S17）。具体的には、「文献情報入力ページ」（図13、図14）にて受付けた文献情報と。ステップ4に

10

20

30

40

50

において受付けた顧客情報と、からなる受注情報をサイトサーバ1のRAM22に蓄積する。その後、すべての項目を空白に設定した「文献情報入力ページ」（図13、図16）をノートパソコン4a、4b…に送信しステップ5に移行する、すなわち、複数の文献情報入力を利用者より受付ける。

【0051】

このようにすることで、利用者より一度に複数の文献情報入力を受付ける場合にも、顧客情報の入力を受付ける回数は一度だけでよく、複数の発注を行う場合に利用者より受付ける入力を簡便化できる。

【0052】

また、「文献情報入力ページ」（図13、図16）をノートパソコン4a、4b…に送信したステップ5の状態、利用者より「申し込み」の選択入力を受付けた場合には（S17）、「文献情報入力ページ」（図13、図16）において、正式誌名並びに入手時期が設定されているか否かと、正式誌名並びに入手時期以外の文献情報における必須項目（本実施例では文献の発行年、巻数、号数、ページ数、著者名）が入力されているか否か、並びに送付先が指定されているかを判定し（S18）、入力されていれば文献情報仮申込処理を実施する（S19）。具体的には、「文献情報入力ページ」（図13、図14）にて受付けた文献情報と、ステップ4において受付けた顧客情報と、からなる受注情報をサイトサーバ1のRAM22に蓄積する。

【0053】

次いで、サイトサーバ1のRAM22に受注情報が蓄積されているか否かを確認し（S20）、受注情報が蓄積されている場合には、図17に示す「申込確認ページ」をノートパソコン4a、4b…に送信し（S21）、サイトサーバ1のRAM22に蓄積していたすべての受注情報を一覧表示することにより、利用者は、該一覧表示された文献の中から、本当に注文したい文献には、当該文献に対応する「選択」の表示にチェックを入力した後に、該申込確認ページの上部に表示されている「申し込み」を入力する。

【0054】

この「申し込み」が選択入力された場合には（S22）、当該「選択」により利用者に特定された受注情報が存在するか否かを調べ（S23）、存在する場合には、選択により利用者に特定された受注情報を、管理サーバ9に出力することで、当該受注情報の出力がSc1にて検知されてSc2にて受注ID（受注情報が顧客IDを含む場合には、枝番を受注データベースの記憶内容に基づいて特定する）を生成し、該生成した受注IDや特定された枝番とともに、受注情報に含まれる注文者の情報や注文文献の情報や部数や送信先の情報が受注データベースに登録されて受注データベースが更新され（Sc3）、前記生成された受注IDと受注情報が顧客IDを含む場合には、顧客IDと枝番とがサイトサーバ1に出力されることで（Sc4）、該出力された受注IDや顧客IDと枝番（顧客IDが有る場合のみ）とが表示された図18に示す「終了ページ」をノートパソコン4a、4b…に送信し（S25）、文献複写サービスを終了する旨を利用者に示す。

【0055】

このように、受注情報を受注データベースに蓄積する前に、利用者より実際に申し込みを所望する受注情報を特定する旨を受付けることで、利用者の入力間違いによる誤発注を低減できる。

【0056】

利用者より受付けた仮称誌名を少なくとも含む正式誌名の候補を抽出するために、サイトサーバ1のCPU21にて実施される誌名候補抽出処理の詳細なフローについて、図4に基づいて説明していく。

【0057】

まず、利用者より受付けた仮称誌名を少なくとも含む正式誌名の候補を蓄積するための領域（以下、誌名候補リストと称す）をサイトサーバ1のRAM22に設け、誌名候補リストを空白にし（Sa1）、誌名候補リストに所属するか否かを未判定である誌名データの数を示す誌名カウンタをサイトサーバ1のRAM22に設け、管理サーバ9の記憶装置1

10

20

30

40

50

5に蓄積された誌名テーブル（図7）に登録されている誌名データの件数を誌名カウンタに設定する（S a 2）。

【0058】

次いで、サイトサーバ1のRAM22に設けられた誌名カウンタが0であるか否かを判定し（S a 3）、0でなければ誌名テーブル（図7）に登録されている誌名データをいずれかの項目順（本実施例では誌名ID順）にて整列させ、先頭からの順序が誌名カウンタに設定された数値と一致する誌名データを抽出する（S a 4）。

【0059】

次いで、抽出した誌名データにおける正式誌名が、利用者より受付けた仮称誌名を少なくとも含むか否かを判定する（S a 5）。具体的には、図7に示すような誌名テーブルの登録状況において、S a 4のステップにて抽出した誌名データが誌名ID「0000001」の誌名データであるときに、利用者より受付けた仮称誌名が「Cardiology」である場合には、該仮称誌名が該誌名データの正式誌名「American Journal of Cardiology」に含まれるため、該誌名データは該仮称誌名を含むと判定される。この結果、サイトサーバ1のCPU21は、仮称誌名を少なくとも含むと判定した該誌名データを、サイトサーバ1のRAM22に設けられた誌名候補リストに蓄積し（S a 6）、誌名カウンタを1減算するとともに（S a 15）、S a 3のステップに移行する。

【0060】

このように、利用者より受付けた仮称誌名が誌名データにおける正式誌名的一部分として含まれる場合に、該誌名データを誌名候補リストに加えることにより、仮称誌名を少なくとも含む正式誌名を正式誌名候補リストとして抽出することができる。

【0061】

次いで、抽出した誌名データにおける誌名読みと、利用者より受付けた仮称誌名と、に対して、英字の大文字と小文字を同一視して、それぞれの先頭の文字から仮称誌名の文字数分だけ順に同じ文字であるか否かを判定することにより、誌名読みの先頭部分が仮称誌名を含むか否か、すなわち、誌名読みと仮称誌名とが前方部分一致したか否かを判定する（S a 7）。具体的には、図7に示すような誌名テーブルの登録状況において、S a 4のステップにて抽出した誌名データが誌名ID「0000003」の誌名データであるときに、利用者より受付けた仮称誌名が「kantou」である場合には、該仮称誌名が抽出した誌名データの誌名読み「kantouseikeisaigai」に前方部分一致するため、該誌名読みは仮称誌名を含むと判定する。サイトサーバ1のCPU21は、仮称誌名を含むと判定した誌名データを、サイトサーバ1のRAM22に設けられた誌名候補リストに蓄積し（S a 8）、誌名カウンタを1減算し（S a 15）、S a 3のステップに移行する。

【0062】

このように、利用者より受付けた仮称誌名が誌名データにおける誌名読みと前方部分一致した場合に、該誌名データを誌名候補リストに加えることにより、仮称誌名を少なくとも含む正式誌名の読み仮名或いは読みローマ字を内在する誌名データを正式誌名候補リストとして抽出することができる。

【0063】

次いで、利用者より受付けた仮称誌名と、抽出した誌名データにおける非情報価値用語省略名と、が、前方部分一致したか否かを判定する（S a 9）。具体的には、図7に示すような誌名テーブルの登録状況において、S a 4のステップにて抽出した誌名データが誌名ID「0000002」の誌名データであるときに、利用者より受付けた仮称誌名が「new england」である場合には、該仮称誌名が抽出した誌名データの非情報価値用語省略名「NEW ENGLAND」に前方部分一致するため、該非情報価値用語省略語は仮称誌名を含むと判定する。サイトサーバ1のCPU21は、仮称誌名を含むと判定した誌名データを、サイトサーバ1のRAM22に設けられた誌名候補リストに蓄積し（S a 10）、誌名カウンタを1減算し（S a 15）、S a 3のステップに移行する。

【0064】

このように、利用者より受付けた仮称誌名が誌名データにおける非情報価値用語と前方部

10

20

30

40

50

分一致した場合に、該誌名データを誌名候補リストに加えることにより、仮称誌名を少なくとも含む正式誌名の非情報価値用語を内在する誌名データを正式誌名候補リストとして抽出することができる。

【0065】

次いで、抽出した誌名データにおける誌名頭文字と、利用者より受付けた仮称誌名と、が、前方部分一致したか否かを判定する（S a 1 1）。具体的には、図7に示すような誌名テーブルの登録状況において、S a 4のステップにて抽出した誌名データが誌名ID「0000001」の誌名データであるときに、利用者より受付けた仮称誌名が「AJ」である場合には、該仮称誌名が抽出した誌名データの誌名頭文字「AJC」に前方部分一致するため、該誌名頭文字は仮称誌名を含むと判定する。サイトサーバ1のCPU21は、仮称誌名を含むと判定した誌名データを、サイトサーバ1のRAM22に設けられた誌名候補リストに蓄積し（S a 1 2）、誌名カウンタを1減算し（S a 1 5）、S a 3のステップに移行する。

10

【0066】

このように、利用者より受付けた仮称誌名が誌名データにおける頭文字と前方部分一致した場合に、該誌名データを誌名候補リストに加えることにより、仮称誌名を少なくとも含む正式誌名を構成する各熟語文節の先頭語の集合語を内在する誌名データを正式誌名候補リストとして抽出することができる。

【0067】

次いで、抽出した誌名データにおける誌名省略名と、利用者より受付けた仮称誌名と、が、前方部分一致したか否かを判定する（S a 1 3）。具体的には、図7に示すような誌名テーブルの登録状況において、S a 4のステップにて抽出した誌名データが誌名ID「0000001」の誌名データであるときに、利用者より受付けた仮称誌名が「Am J」である場合には、該仮称誌名が抽出した誌名データの誌名省略名「Am J Cardiol」に前方部分一致するため、該誌名省略名は仮称誌名を含むと判定する。サイトサーバ1のCPU21は、仮称誌名を含むと判定した誌名データを、サイトサーバ1のRAM22に設けられた誌名候補リストに蓄積し（S a 1 4）、誌名カウンタを1減算し（S a 1 5）、S a 3のステップに移行する。

20

【0068】

このように、利用者より受付けた仮称誌名が誌名データにおける誌名省略語と前方部分一致した場合に、該誌名データを誌名候補リストに加えることにより、仮称誌名を少なくとも含む正式誌名を構成する各単語の先頭文字の集合文字列を内在する誌名データを正式誌名候補リストとして抽出することができる。

30

【0069】

また、S a 3のステップにおいて、誌名カウンタが0であると判定された場合には処理を終了する。

【0070】

このようにすれば、管理サーバ9の記憶装置15に蓄積された誌名テーブルに登録されているすべての誌名データに対して、利用者より受付けた仮称誌名が、誌名データに設けられたいずれかの誌名（本実施例では、正式誌名、誌名読み、非情報価値用語省略名、誌名頭文字、誌名省略名）に含まれるか否かの判定を実施することができるため、仮称誌名を少なくとも含む誌名を内在する誌名データをもれなく抽出することができる。さらには、利用者が、注文に際して複写を希望する文献の仮称誌名を入力することで、該仮称誌名の文字列を少なくとも含む正式誌名が一覧表示され、該正式誌名が一覧から複写を希望する文献が該当するものを指定するのみで誌名入力を簡便に実施でき、よって、これら誌名入力における入力間違い等に伴う不都合やトラブルを大幅に低減することができる。

40

【0071】

誌名候補抽出処理により抽出された誌名データに対応付けられた学術誌の所蔵先と、該所蔵先に所蔵された文献を複写して注文者に届けるまでの必要日数を示す入手時期と、を特定するために、サイトサーバ1のCPU21にて実施される入手時期特定処理の詳細なフ

50

ローについて、図5に基づいて説明していく。

【0072】

まず、誌名候補抽出処理により抽出された誌名候補リストが内在する誌名データに対応付けられた所蔵先並びに入手期間を蓄積するための領域（以下、入手期間リストと称す）をサイトサーバ1のRAM22に設け、入手期間リストを空白に設定し（Sb1）、入手期間リストに所属するか否かを未判定である誌名データの数を示す誌名カウンタをサイトサーバ1のRAM22に設けるとともに、サイトサーバ1のRAM22に蓄積された誌名候補リストに登録されている誌名データの件数を誌名カウンタに設定する（Sb2）。

【0073】

次いで、サイトサーバ1のRAM22に設けられた誌名カウンタが0であるか否かを判定し（Sb3）、0でなければ誌名候補リストに登録されている誌名データをいずれかの項目順（本実施例では誌名ID順）にて整列させ、先頭からの順序が誌名カウンタに設定された数値と一致する所蔵データを抽出する（Sb4）。

【0074】

次いで、入手期間リストに所属するか否かを未判定である所蔵データの数を示す所蔵カウンタをサイトサーバ1のRAM22に設けるとともに、管理サーバ9の記憶装置15に蓄積された所蔵テーブル（図9）に登録されている所蔵データの件数を所蔵カウンタに設定する（Sb5）。

【0075】

次いで、サイトサーバ1のRAM22に設けられた所蔵カウンタが0であるか否かを判定し（Sb6）、0でなければ所蔵テーブル（図9）に登録されている所蔵データをいずれかの項目順（本実施例では所蔵ID順）にて整列させ、先頭からの順序が所蔵カウンタに設定された数値である所蔵データを抽出するとともに（Sb7）、誌名候補リストより抽出した誌名データが内在する誌名IDと、所蔵テーブル（図9）より抽出した所蔵データが内在する誌名IDと、が、一致するか否かを判定する（Sb8）。誌名IDが一致した場合には、該所蔵データが内在する所蔵先データの識別情報である所蔵先ID並びに分館IDと対応づけられ、かつ、所蔵先テーブル（図8）に蓄積されている所蔵先データを、所蔵先テーブル（図8）にて特定し（Sb9）、該所蔵先データが内在する入手期間をサイトサーバ1のRAM22に設けられた入手期間リストに蓄積するとともに（Sb10）、誌名カウンタを1減算し（Sb11）、Sb3のステップに移行する。具体的には、Sb4のステップにて抽出した誌名データが誌名ID「0000001」の誌名データであるときに、所蔵テーブル及び所蔵先テーブルがそれぞれ図8、図9に示すような登録状況である場合に、Sb8のステップにおいては、例えば所蔵IDが「0000001」である所蔵データに対して、誌名IDが一致すると判定する。また、Sb9のステップにおいては、所蔵IDが「0000001」である所蔵データが内在する所属先ID並びに分館IDがそれぞれ「01」、「01」であるため、所蔵先テーブルに蓄積された所蔵先データの内、所属先ID並びに分館IDがそれぞれ「01」、「01」である所蔵先データが特定され、該所属先データが内在する入手時期「1日」が、入手時期として特定されることとなる。同様に、誌名ID「0000001」の誌名データに対しては、入手時期として「5日」、「2日」も特定される。

【0076】

また、Sb8のステップにおいて、誌名候補リストより抽出した誌名データが内在する誌名IDと、所蔵テーブル（図9）より抽出した所蔵データが内在する誌名IDと、が、一致しなかった場合には、所蔵カウンタを1減算し（Sb12）、Sb6のステップに移行する。

【0077】

このようにすれば、誌名データと対応付けられた学術誌を所蔵する所蔵先が、所蔵テーブル（図9）に登録されているか否かの判定を、所蔵テーブルに登録されたすべての所蔵データに対して実施することができる。さらには、所蔵データが見つかった場合には、所蔵データと対応付けられた所蔵先において、所蔵された文献を複写して注文者に届けるまで

10

20

30

40

50

の必要日数を示す入手時期を特定できる。すなわち、誌名候補抽出処理で抽出されたすべての誌名データに対して、該誌名データと対応づけられた学術誌を所蔵するすべての所蔵先において、所蔵された文献を複写して注文者に届けるまでの必要日数を示す入手時期を特定できる。

【0078】

また、S b 3のステップにおいて、誌名カウンタが0であると判定された場合には、誌名候補リストに内在される誌名データを所蔵するすべての所蔵先において、その入手時期を蓄積した入手期間リストをもとに、「文献情報入力ページ」（図13、図16）及び「検索/結果ページ」（図14、図15）にて利用者に報知される所定の数の入手時期（本実施例では3）からなる入手予定リストを生成する（S b 13～S b 20）。具体的には、まず、入手予定リストを蓄積するための領域をサイトサーバ1のRAM22に設け、入手予定リストを空白に設定する（S b 13）。

10

【0079】

次いで、入手期間リストに内在される入手期間の数が3以上であるか否かを判定し（S b 14）、3以上である場合には、入手期間リスト内在する入手期間のうち、最小の値をもつ入手期間、最小の次に小さい値をもつ入手期間、最大の値をもつ入手期間を抽出し（S b 15～S b 19）、これらをサイトサーバ1のRAM22に蓄積された入手予定リストに登録する（S b 20）。具体的には、入手時期リストに入手時期として「1日」、「5日」、「2日」が蓄積されている場合には、入手予定リストには入手時期として「1日」、「2日」、「5日」が、この順序で蓄積される。

20

【0080】

また、S b 14のステップにおいて、入手期間リストに内在される入手期間の数が3より小さい場合には、入手期間リストに内在されるすべての入手期間を入手予定リストとする。

【0081】

このようにして、誌名候補抽出処理で抽出されたすべての誌名データに対して、該誌名データと対応づけられた学術誌を所蔵する所蔵先において、所蔵された文献を複写して注文者に届けるまでの必要日数として、図16の「文献情報入力ページ」に示すように、最短期間、最短の次に短い期間、最長期間の3種類の入手期間（本実施例では、1日、2日、5日）が利用者に報知されるため、利用者は最良の図書館より入手できた場合には1日、最良の図書館より入手できない場合でもその次に最良の図書館より入手できた場合には2日、もっとも長い場合でも5日、というように、利用者は、複写頁の受注を行う前に、該複写頁を入手できるまでの入手予想期間を把握でき、発注の参考とすることができる。

30

【0082】

尚、本実施例では、入手期間として、最短期間、最短の次に短い期間、最長期間の3種類の入手期間（本実施例では、1日、2日、5日）を利用者に報知する構成としているが、最短期間と最長期間だけでも良く、このようにすれば、所望の文献を最短期間から最長期間の間に入手可能な旨を報知できるため、利用者は所望の文献を入手可能な日数を文献の注文の前に予想することが可能となる。また、最短期間のみ、最長期間のみ、を入手期間として利用者に報知する構成としても良く、このようにすれば、発注に際して利用者に報知する情報を減らすことができ、申し込みにかかる認識上の負担を軽減できる。

40

【0083】

次いで、図6に示すフロー図に基づいて、管理サーバが実施する処理内容について説明すると、前記S24における受注情報の出力に基づいてSc2～Sc4までの処理が実施された後、Sc5に進んで、受注した文献を所蔵する所蔵図書館の抽出処理を実施する。

【0084】

これら所蔵図書館の抽出処理は、前記入手時期特定処理における所蔵先の図書館を特定する処理と同様に実施され、所蔵図書館が複数存在する場合には、3つの図書館とその入手時期とが抽出される。

【0085】

50

そして、抽出された所蔵図書館が複数であるか否かを判定し（S c 6）、複数でない場合にはS c 8に進み、複数である場合には、最小の入手時期（日数）の図書館を最短手配図書館として特定する最短手配図書館特定処理を実施した後S c 8に進む。

【0086】

尚、本実施例では、これらS c 6～S c 8の処理を再度実施するようにしているが、本実施例のように、受注時において、図5のフロー図に示す入手時期特定処理を実施する場合においては、当該入手時期特定処理における特定結果を記憶しておいて、S c 6～S c 8の処理に代えるようにしても良い。

【0087】

このようにして特定した所蔵図書館或いは最短手配図書館に設置されている前記図書館端末としてのコンピュータ端末6に対して、前記受注した文献の誌名、複写頁並びに受注IDを含む文献複写指示情報を送信する文献複写指示情報送信処理を実施する（S 8）。 10

【0088】

そして、該送信した文献複写指示情報に含まれる受注IDに対応して前記受注データベースに記憶されている処理状況を「手配中」に更新記憶するとともに、該文献複写指示情報を送信した図書館に対応して前記所蔵先テーブルに登録されている入手時期を特定して、該入手時期を入手予定期間に登録して受注データベースを更新する（S c 9）。

【0089】

そして、該受注データベースを更新した後に、S c 10 bに進んで、受注データベースの当該更新が、後述するS c 14における再抽出処理に伴う更新か否かが判定され、再抽出処理に伴う更新である場合においてのみS c 11に進んで、更新後の入手予定期間を含む電子メールを、該更新された処理状況に対応する顧客IDに基づいて、顧客データベースの登録内容から特定されるメールアドレスに対して送信することで、入手予定期間に変更があったことと新たな入手予定期間とを注文者に対して通知するとともに、これら入手予定期間に変更のあった受注IDのリストを前記表示装置14に表示して報知する。 20

【0090】

このようにして管理サーバ12における文献複写指示情報送信処理（S 8）にて送信された文献複写指示情報の受信に基づいて、コンピュータ端末6では、受信した文献複写指示情報に基づく文献複写指示書が印刷出力されて、該文献複写指示書にて指示された文献が図書館担当者にて探し出されて該文献複写指示書とともにスキャナプリンタ8にて読み取ることで入力され、該にスキャナプリンタ8にて読み取られた複写データ（スキャンデータ）が、文献複写指示書に印刷されているバーコード化された受注IDからバーコードリーダーにて読み取られた受注IDがヘッダとして付加された複写データ情報として管理サーバ9に送信される。 30

【0091】

尚、文献複写指示書にて指示された文献が何らかの理由で複写不能である場合には、複写データ（スキャンデータ）に代えて複写不能であることを示す所定の複写不能データが送信される。

【0092】

この複写データ情報の受信は管理サーバ9におけるS c 12の処理にて検出されて、S c 13に進み、当該受信した複写データ情報に複写不能情報である複写不能データが含まれるか否かを判定する。 40

【0093】

該判定において、複写不能データが含まれる場合には、複写データ情報を送信してきた図書館以外の他の所蔵先とその入手期間とを再抽出した後（S c 14）、S c 6へ進んで、抽出した所蔵図書館が複数であるか否かを判定し、抽出した所蔵先複数である場合にはS c 7へ進んで最短手配図書館を特定した後、所蔵図書館或いは最短手配図書館に対して、文献複写指示情報送信処理（S 8）を再度実施する。

【0094】

そして、S c 9に進んで該文献複写指示情報を送信した図書館に対応する入手時期を所蔵 50

先テーブルより特定して受注データベースを更新するとともに、S c 1 0 にて再抽出による更新と判定されて、該更新後の新たな入手予定期間が、注文者に対して電子メールにて通知される（S c 1 1）。

【0095】

一方、前記S c 1 3の判定において、当該受信した複写データ情報に複写不能情報である複写不能データが含まれていない場合には、S c 1 5に進んで、該受信した複写データ情報に付与されている受注IDに対応付けて受注データベースに記憶されている部数を特定し、該受信した複写データ情報に含まれる複写データ（文献複写指示書を含む）が、印刷機100により特定された部数にて印刷される複写データ印刷出力処理が実施されるとともに、該複写データ情報に付加されている受注IDに対応付けて受注データベースに登録されている送信先が印刷機100にて印刷される送付先印刷処理が実施され（S c 1 6）、該印刷された複写文献と送信先とが組み合わされるようになっている。

10

【0096】

そして、該送付先印刷処理が実施された場合には、当該営業日中に該印刷された送付先に対する発送が実施されることから、S c 1 7において、当該受注IDに対応付けて受注データベースに登録されている処理状態が、「発送済み」に更新されるとともに、当日の日付が発送日として登録される。

【0097】

尚、前記R T C 1 7より出力される日付情報が新たな日付に更新された場合には、該日付更新がS c 2 0にて検出されて、S c 2 1に進むことにより、前記受注データベースに登録されている入手予定期間が1日減算更新される。

20

【0098】

次いで、アクセス利用者が既に注文済みの文献の処理状況について確認したい場合において、前記メニューページ（図11参照）の左側位置に表示されている「問い合わせWEB」の表示を選択入力することで実施される問い合わせ処理について以下に説明する。

【0099】

アクセス利用者が既に注文済みの文献の処理状況を確認するために前記メニューページ（図11参照）の左側位置に表示されている「問い合わせWEB」の表示を選択入力した場合には、該選択入力が図3に示すS 2 6において「問い合わせ有り」と判定されて、S 2 7に進み、図19に示す問い合わせメニューページがアクセス利用者のノートパソコン4 a、4 b…に配信されて表示される。

30

【0100】

この問い合わせメニューページで「（1）手配状況の確認」を選択入力すると、図20に示す入力受け付け画面がアクセス利用者のノートパソコン4 a、4 b…に配信されて表示される。

【0101】

この入力受け付け画面において、顧客登録により顧客IDを所有している注文者は顧客IDを入力した後、「問い合わせ」を選択入力することで、該顧客IDの入力がS 2 8により検知されて、該入力された顧客IDに該当する受注履歴の出力要求が管理サーバ9に出力される。

40

【0102】

該出力要求の出力は、管理サーバ9が実施する図6に示す処理のS c 1 8により検出され、S c 1 9において、受注履歴の出力要求に含まれる顧客IDが注文者として登録されている全ての受注履歴が該当受注履歴として抽出されてサイトサーバ1に返信され、該サイトサーバ1からアクセス利用者のノートパソコン4 a、4 b…に対して、該返信されてきた該当受注履歴に基づく問い合わせ結果ページが図21に示すように配信されて表示されることで（S 3 2）、アクセス利用者は、自分が最近3ヶ月以内に注文した全ての注文の処理状況を確認することができる。

【0103】

また、顧客IDを所有していない注文者或いは、顧客IDを所有していても、その注文の

50

みの処理状況を確認したい場合には、注文時において通知された（図18参照）受注IDを入力した後、「問い合わせ」を選択入力することで、該受注IDの入力がS30により検知されて、該入力された顧客IDに該当する受注履歴の出力要求が管理サーバ9に出力される。

【0104】

該出力要求の出力は、管理サーバ9が実施する図6に示す処理のS c 1 8により検出され、S c 1 9において、受注履歴の出力要求に含まれる受注IDに対応付けて登録されている受注履歴が抽出されてサイトサーバ1に返信され、該サイトサーバ1からアクセス利用者のノートパソコン4 a、4 b…に対して、該返信されてきた受注履歴に基づく問い合わせ結果ページが配信されて表示されることで（S32）、アクセス利用者は、自分が注文した文献の処理状況を確認することができる。

10

【0105】

以上説明したように、本実施例の文献受注複写システムを用いれば、サーバコンピュータ1によりアクセス利用者から受付けた文献の複写注文に基づいて、当該文献が所蔵されている図書館が特定されて、該特定された図書館に設置されている図書館端末であるコンピュータ端末6に対して、文献複写指示情報が自動的に送信されるとともに、該送信された文献複写指示情報に基づいて図書館端末であるコンピュータ端末6から文献複写指示情報に含まれる文献の複写データを含む複写データ情報が送信されてくることで、該複写データ情報に含まれる複写データが印刷出力されるとともに当該複写文献の送付先が出力されて、これら印刷出力された複写文献を送付先に容易に発送できるようになるため、サーバコンピュータ1にける受注処理と受注した文献の複写処理とが自動的に実施されるように統合されるようになり、よって、受注の効率化による受注の増大の効果を最大限に生かすことができるとともに、文献の複写処理を大幅に効率化することもできる。

20

【0106】

また、本実施例の文献受注複写システムを用いれば、図21に示すように、問い合わせ結果ページがアクセス利用者のノートパソコン4 a、4 b…に表示されるようになるため、注文者であるアクセス利用者は、自分の利用者端末であるノートパソコン4 a、4 b…において、既に注文済みの文献の処理状況をいつでも把握できるようになるため、注文者に安心感を与えることができるばかりか、処理状況の問い合わせへの対応に伴う労力も大幅に低減することができる。

30

【0107】

以上、本発明を図面により説明してきたが、本発明はこれら実施例に限られるものではなく、本発明の要旨を逸脱しない範囲における変更や追加があっても本発明に含まれることは言うまでもない。

【0108】

例えば、前記実施例では、受付けた受注情報をサイトサーバ1のRAM22に蓄積しているが、受注センタ内にあるサイトサーバ1及び管理サーバ9が備える記憶装置であれば良く、例えば、管理サーバ9のRAM12でも良い。また、利用者より受付けた受注情報を、再度利用者に提示し、利用者による確認を受付けることで、該受注情報を管理サーバ9の記憶装置15に設けられた受注データベースに蓄積する構成としているが、受注情報の確認を取らずに受付けた時点で受注データベースに蓄積する構成としても良く、このようにすることで、利用者に促す入力を簡便化できる。

40

【0109】

また、前記実施例では、サイトサーバ1のCPU21にて文献複写サービスにかかる受注処理を実施し、管理サーバ9の記憶装置15にて文献複写サービスにて用いるデータ（誌名テーブル、所蔵先テーブル、所蔵テーブル、受注データベース）を蓄積し、管理サーバ9の通信インタフェース18にてコンピュータ端末6と接続する構成としているが、データ（誌名テーブル、所蔵先テーブル、所蔵テーブル、受注データベース）をサイトサーバ1の記憶装置25に蓄積し、管理サーバ1の通信インタフェース28にコンピュータ端末6と接続する構成とすることで、管理サーバ1のみで文献複写サービスにかかる受注処理

50

を実施できるようにして、機器構成が簡便なものとしても良い。

【0110】

また、前記実施例では、図21に示すように、問い合わせ結果ページにおいて、日数の経過とともに更新される入手予定期間を表示するようにしており、このようにすることは、注文者であるアクセス利用者は、自分の利用者端末において、既に注文済みの文献の入手予定期間を把握できるようになることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら入手予定期間を表示せずに、詳細な処理状況のみを表示するようにしても良い。

【0111】

また、前記実施例では、複写データ情報が複写不能データを含む場合において、再抽出処理を自動的に実施して、他の所蔵図書館に対して文献複写指示情報を送信するようにしており、このようにすることは、何らかの原因、例えば文献の複写頁が貸し出されていたり、製本に供されていて複写不能である場合であっても、当該文献の複写頁を所蔵している他の図書館が自動的に抽出されて文献複写指示情報が送信されるようになるため、これら文献が複写不能である場合にも自動的に対処することができることから好ましい。

【0112】

また、前記実施例では、再抽出処理を実施して入手予定期間に変更が生じた場合には、新たな入手予定期間を注文者に対して電子メールにて通知するようにしており、このようにすることは、入手予定期間に変更が注文者に対して自動的に報知されるため、これら複写不能による納期の遅れ等によるトラブルの発生を未然に防ぐことが可能となることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら注文者への入手予定期間の変更等の処理状況の変更通知を実施しない構成としても良い。

【0113】

また、前記実施例では、受注時において、受注する以前に最短入手予想期間をアクセス利用者に対して配信しており、このようにすることは、注文者であるアクセス利用者は、文献複写の受注を行う前に、該複写文献を入手できるまでの最短入手予想期間を把握でき、発注の参考とすることができることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら最短入手予想期間の配信を実施しない構成としても良い。

【0114】

また、前記実施例では、文献の注文に際して文献の仮称誌名を入力することで、該仮称誌名に対応する正式誌名の候補が一覧表示されて、誌名の指定を実施できるようにしており、このようにすることは、一覧表示された候補誌名の中から希望する文献を指定するのみで誌名入力を簡便に実施でき、よって、これら誌名入力における入力間違い等に伴う不都合やトラブルを大幅に低減することができることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら仮称誌名に基づく誌名入力を実施しない構成としても良い。

【0115】

また、前記実施例においては、前記文献誌名の名称を推察できると思われる仮称誌名として、該文献誌名の正式誌名の読み仮名或いは読みローマ字や、該文献誌名の正式誌名から非情報価値用語を省いたものや、該文献誌名の正式誌名を構成する各熟語文節の先頭語の集合語や、該文献誌名の正式誌名を構成する各単語の先頭文字の集合文字列としており、これらのいずれも仮称誌名として使用できるようにしているが、本発明はこれに限定されるものではなく、これの内、いずれの仮称誌名を用いるかは、適宜に選択すれば良い。また、これら仮称誌名以外の仮称誌名を更に加える等は任意とされる。

【0116】

また、前記実施例においては、管理サーバ9と各図書館に設置されたコンピュータ端末6とのデータ通信を、VPN通信装置5、7を介して実施しており、このようにすることは、常時接続のデータ通信環境を、安価にて構築することができることから好ましいが、本発明はこれに限定されるものではなく、これら管理サーバ9とコンピュータ端末6とのデータ通信の通信形態は、無線や有線の通信回線を介して実施しても良いし、適宜に選択すれば良い。

【0117】

【発明の効果】

本発明は以下の効果を奏する。

(a) 請求項1項の発明によれば、サーバコンピュータによりアクセス利用者から受け付けた文献の複写注文に基づいて、当該文献が所蔵されている図書館が特定されて、該特定された図書館に設置されている図書館端末に対して、文献複写指示情報が自動的に送信されるとともに、該送信された文献複写指示情報に基づいて図書館端末から文献複写指示情報に含まれる文献の複写データを含む複写データ情報が送信されてくることで、該複写データ情報に含まれる複写データが印刷出力されるとともに当該複写文献の送付先が出力されて、これら印刷出力された複写文献を送付先に容易に発送できるようになるため、サーバコンピュータにおける受注処理と受注した文献の複写処理とが自動的に実施されるように統合されるようになり、よって、受注の効率化による受注の増大の効果を最大限に生かすことができるとともに、文献の複写処理を大幅に効率化することもできる。また、最も手配期間の短い図書館に対して前記文献複写指示情報が送信されるようになるため、注文者は最短期間にて複写文献を入手することができるとともに、何らかの原因、例えば文献の複写頁が貸し出されていたり、製本に供されていて複写不能である場合であっても、当該文献の複写頁を所蔵している最も手配期間の短い他の図書館が自動的に抽出されて文献複写指示情報が送信されるようになるため、これら文献が複写不能である場合にも自動的に対処することができる。

10

【図面の簡単な説明】

20

【図1】本発明の実施例における文献受注システムの構成を示すシステム図である。

【図2】本発明の実施例における文献受注システムに用いたサーバコンピュータの構成を示すブロック図である。

【図3】本発明の実施例に用いたサイトサーバにおける文献受付処理の内容を示すフロー図である。

【図4】本発明の実施例に用いたサイトサーバにおける氏名候補抽出処理の内容を示すフロー図である。

【図5】本発明の実施例に用いたサイトサーバにおける入手時期特定処理の内容を示すフロー図である。

【図6】本発明の実施例に用いた管理サーバにおける処理状況を示すフロー図である。

30

【図7】本発明の実施例に用いた管理サーバに記憶されている誌名テーブルの構成を示す図である。

【図8】本発明の実施例に用いた管理サーバに記憶されている所蔵先テーブルの構成を示す図である。

【図9】本発明の実施例に用いた管理サーバに記憶されている所蔵テーブルの構成を示す図である。

【図10】本発明の実施例に用いた管理サーバに記憶されている受注データベースの構成を示す図である。

【図11】本発明の実施例に用いたサイトサーバにおけるメニューページを示す図である。

40

【図12】本発明の実施例に用いたサイトサーバにおける顧客情報入力ページを示す図である。

【図13】本発明の実施例に用いたサイトサーバにおける文献情報入力ページを示す図である。

【図14】本発明の実施例に用いたサイトサーバにおける検索/結果ページを示す図である。

【図15】本発明の実施例に用いたサイトサーバにおける検索/結果ページを示す図である。

【図16】本発明の実施例に用いたサイトサーバにおける文献情報入力ページを示す図である。

50

【図 1 7】本発明の実施例に用いたサイトサーバにおける申込確認ページを示す図である。

【図 1 8】本発明の実施例に用いたサイトサーバにおける終了ページを示す図である。

【図 1 9】本発明の実施例に用いたサイトサーバにおける問い合わせページを示す図である。

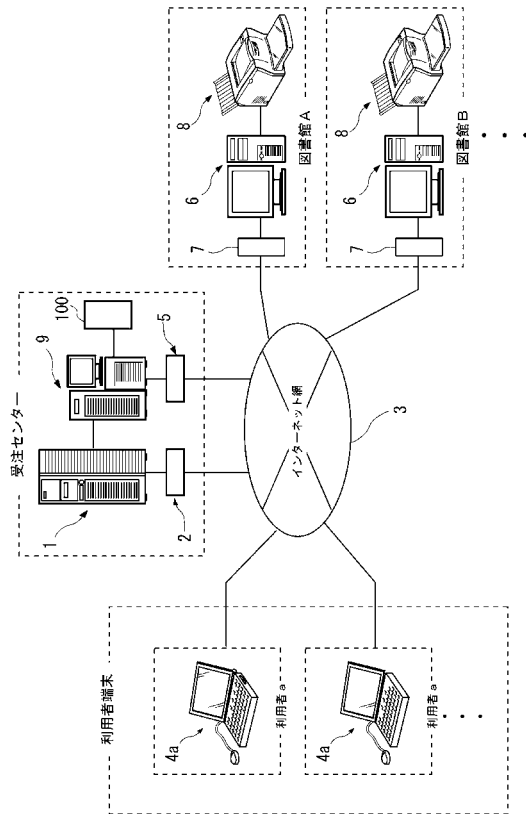
【図 2 0】本発明の実施例に用いたサイトサーバにおける入力受付ページを示す図である。

【図 2 1】本発明の実施例に用いたサイトサーバにおける問い合わせ結果ページを示す図である。

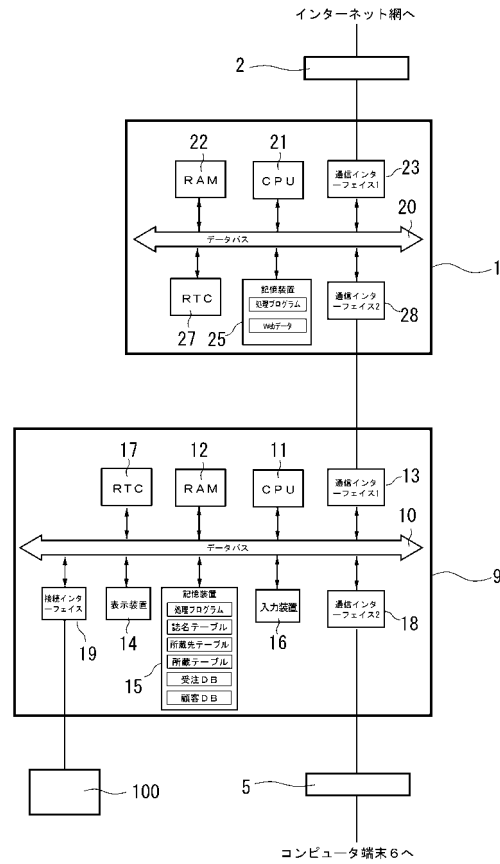
【符号の説明】

1	サイトサーバ（サーバコンピュータ）	
2	通信装置	
3	インターネット網（コンピュータネットワーク）	
4 a	ノートパソコン（アクセス利用者端末）	
4 b	ノートパソコン（アクセス利用者端末）	
5	V P N通信装置	
6	コンピュータ端末	
7	V P N通信装置	
8	スキャナプリンタ	
9	管理サーバ（サーバコンピュータ）	10
1 0	データバス	
1 1	中央演算処理回路（C P U）	
1 2	R A M	
1 3	第 1 通信インターフェイス	
1 4	表示装置	
1 5	記憶装置	
1 6	入力装置	
1 7	リアルタイムクロック（R T C）	
1 8	第 2 通信インターフェイス	
1 9	接続インターフェイス	20
2 0	データバス	
2 1	中央演算処理回路（C P U）	
2 2	R A M	
2 3	第 1 通信インターフェイス	
2 5	記憶装置	
2 7	リアルタイムクロック（R T C）	
2 8	第 2 通信インターフェイス	30

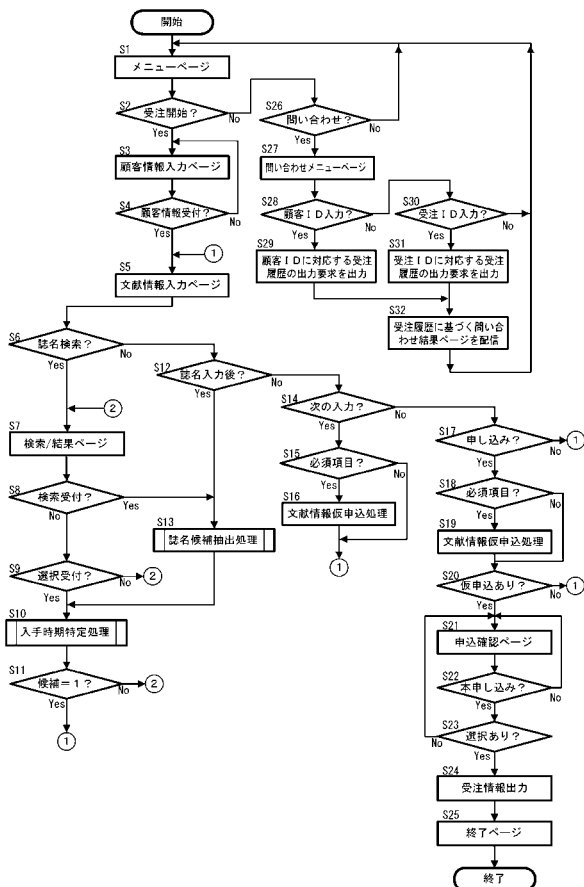
【図 1】



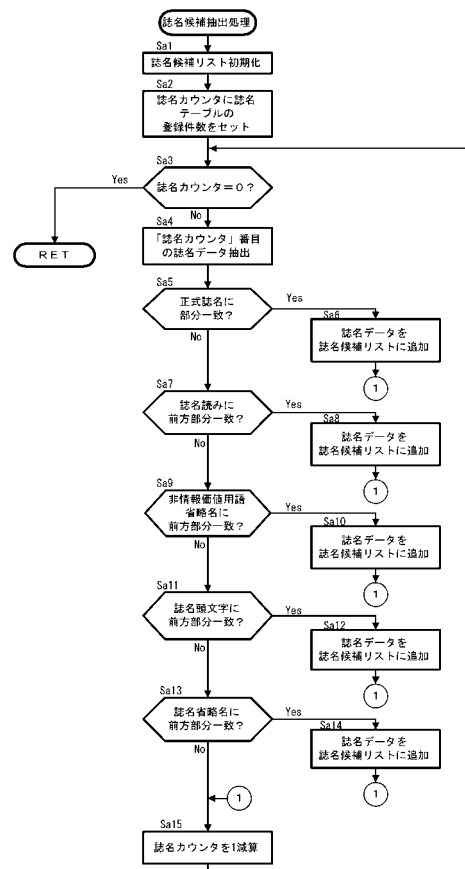
【図 2】



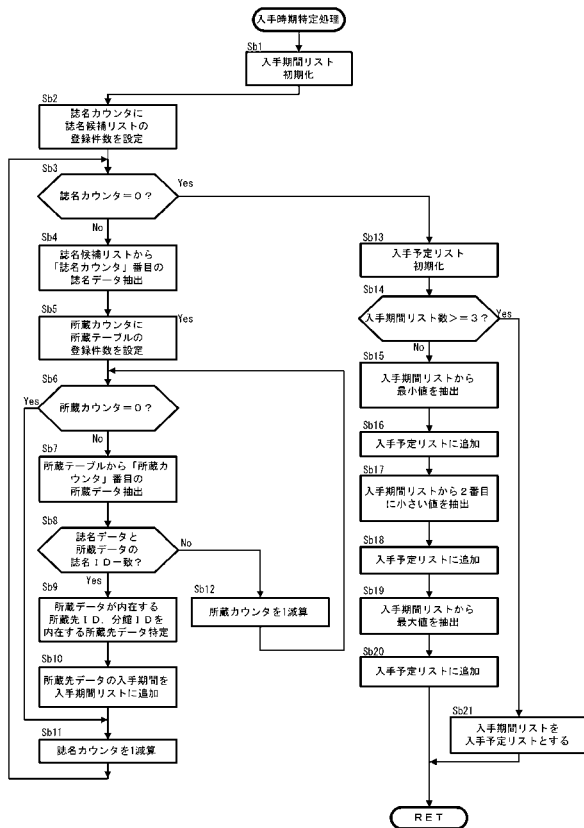
【図 3】



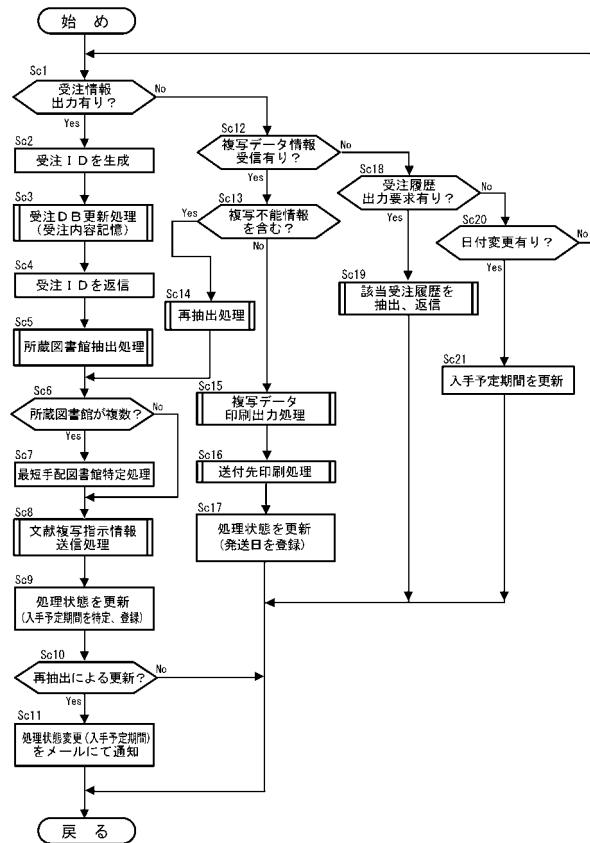
【図 4】



【図 5】



【図 6】



【図 7】

読者ID	正式読者名	読者読み	非情報提供用読者名	読者頭文字	読者省略名
0000001	American Journal of Cardiology	→	AMERICAN JOURNAL CARDIOLOGY	KJC	Am J Cardiol
0000002	New England Journal of Medicine	→	NEW ENGLAND JOURNAL MEDICINE	NEJM	N Engl J Med
0000003	関東整形外科災害外国医学雑誌	→	関東整形外科災害外国医学雑誌	RSGS	関東整形誌
...	...	...	...	...	...

読者テーブル

【図 8】

所蔵先ID	分館ID	所蔵先名	URL	入手時期
01	01	資料室	http://www.0101.or.jp/	1日
01	02	資料室	http://www.0102.or.jp/	5日
02	01	資料室	http://www.0201.or.jp/	2日
...	...	...	...	...

所蔵先テーブル

【図 9】

所蔵テーブル

所蔵ID	誌名ID	所蔵先ID	分館ID	所蔵記号	所蔵開始年	所蔵終了年	継続所蔵フラグ
000001	00000001	01	01	1<1-2>(1985).3-4.5<1-2>(1989)+	1985	1989	真
000002	00000001	01	02	3(1987)-4.5(1989)+	1987	1989	真
000003	00000001	02	01	5(1989)+	1989	1989	真
...	...	...	...	...	...	...	...

【図 10】

受注データベース

受注ID	送付先ID	枝番	文獻誌名	部数	受注日	処理状況	送付先
XXXXXXXXXZ	NNNNNN	NNN	New England Jernal... 2002/31巻/1号30~32頁	1	02/05/05	状況：手配中 入手予定期間：2~3日	ユーザー急送先
XXXXXXXXXY	□□ 本部		Journal of American... 2000/10巻/6号141~145頁	2	02/05/05	状況：手配中 入手予定期間：1週間	〒102-0001 東京都千代田区... 〇〇病院内
XXXXXXXXXX	NNNNNN	NNN	proceed in... 2001/12巻/10号40~50頁	1	02/05/05	状況：手配中 入手予定期間：4~5日	ユーザー急送先
...	...	...	...	...	...	...	...

【図 11】

サービスメニュー

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 中止 更新 ホーム 検索 印刷

アドレス <http://www2.shinshu-u.ac.jp/~new/html>

*サービスメニュー

☐ サービスメニュー (1) 文献複写サービス

☐ (2) 戻る

☐ お問い合わせ先

【図 13】

ドキュメントデリバリーサービス

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 中止 更新 ホーム 検索 印刷

アドレス <http://www2.shinshu-u.ac.jp/~document/html>

文献複写サービス

サービスメニュー

お問い合わせ先

誌名 誌名検索

2002 年 86 巻 1 号 15 ~ 22 ページ

著者名 論題

入手時期：お問合せください

【図 12】

ユーザ登録

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 中止 更新 ホーム 検索 印刷

アドレス <http://www2.shinshu-u.ac.jp/~youhinmyar.yoku>

お客様情報入力

☐ サービスメニュー

☐ お問い合わせ先

※会社名

※専業所名 ご所属

※お名前 E-mail

※は必須項目

その他情報入力

住所

電話番号

FAX番号

【図 14】

検索/結果

誌名 年 巻 号 検索

選択	誌名	入手時期	詳細
☐			詳細
☐			詳細
☐			詳細
☐			詳細

【図 15】

検索/結果

誌名 2002年 175巻 3号 検索

選択	誌名	入手時期	詳細
☐	ACA Journal of chiropractic	2日～6日	詳細
☐	ACP Journal club	1日～6日	詳細
☐	American Journal of cancer	3日～7日	詳細
☐	American Journal of cardiac imaging	1日～3日	詳細
☐	American Journal of cardiology	1日～5日	詳細

American Journal of cardiology

巻次 1(1958)-
 発行者 NewYork: Donnelley

別タイトル: A Yorke medical journal
 省略形: Am J Cardiol
 入手時期: 1日後(第1候補) 2日後(第2候補) 5日後(第3候補)

【図 16】

ドキュメントデリバリーサービス

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

戻る 進む 中止 更新 ホーム 検索 送信 履歴 メール 印刷

アドレス <http://www2.shinshu-u.ac.jp/document.html>

サービスメニュー
お問い合わせWEB

文献複写サービス

誌名 調べる

2002年 86巻 1号 15～22ページ

著者名 題目

入手時期: ☐ 図書館 ☐ 所要日数

第1候補	1日
第2候補	2日
第3候補	5日

申し込み 次への入力

【図 17】

お申込み内容確認

サービスメニュー
お問い合わせWEB

お申込み内容確認

選択: ☒ 番号: 1 誌名: American Journal of Cardiology
 年: 2002 巻: 86 号: 1 ページ: 15～22

著者: A. Smith

題目:

送付先: 登録送付先 (〒105-0101 東京都新宿区・・・)
 入手時期: 2日後(第1候補) 3日後(第2候補) 5日後(第3候補)

選択: ☐ 番号: 2 誌名: Japanese Journal of Intervent
 年: 1998 巻: 13 号: 5 ページ: 416～418

著者: 福田幸弘

題目: 肺血栓症に対する

送付先: 登録送付先 (〒105-0101 東京都新宿区・・・)
 入手時期: 2日後(第1候補) 4日後(第2候補) 5日後(第3候補)

【図 18】

お申込み完了

サービスメニュー
お問い合わせWEB

お申込みありがとうございました。

顧客ID: ZZZZZZ 検索aaa
 受注ID: XXXXXXXXXX

確かに承りました。
 早急に手配させていただきます。
 今後ともよろしくお願いいたします。

サービス選択画面へ ホームへ戻る

【図 19】

お問い合わせWEB

サービスメニュー
お問い合わせWEB

* お問い合わせWEB

(1) 手配状況の確認
 (2) 出荷状況の確認
 (3) 戻る

【図 21】

問い合わせ結果

サービスメニュー
お問い合わせWEB

* お問い合わせ結果

顧客番号: NNNNN 株式会社 ○○ 宇南部 ○× 太郎様

最近3ヶ月の注文履歴

候補	注文誌名	手配状況	送付先	部数
nmn	New England Journal... 2002/311巻/1号30～32頁	日中手配中です。 2～3日中に入手予定です。	ユーザー登録先	1
nmn	New England Journal... 2001/115巻/22号112～116頁	発送済みです。	ユーザー登録先	2
.	.	.	.	.
.	.	.	.	.
.	.	.	.	.

【図 20】

入力受付

サービスメニュー
お問い合わせWEB

* 顧客登録をされている方

顧客IDを入力して下さい。

* 顧客登録をされていない方

受注番号(受注ID)
 を入力して下さい。

入力後に下の「問い合わせ」を入力して下さい。

問い合わせ 戻る

フロントページの続き

- (56)参考文献 特開2003-099567 (JP, A)
特開2002-169812 (JP, A)
特開2002-245333 (JP, A)
特開2003-091548 (JP, A)
登録実用新案第3092695 (JP, U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

G06Q 50/00

G06F 17/30

G06Q 30/00